

2011年11月26日(土)
第13回マクロコンファレンス

論文「Aggregate Impacts of Natural and
Human-Made Disasters in the Global Economy」
のコメント

名古屋市立大学
外谷英樹

1

検証1 消費のリスクシェアリング仮説

「所得の変化」が「消費」に影響を与える
かを分析

→ 様々な災害変数を「所得変化」の操作
変数として使用

↓

「所得の変化」→「消費の変化」がみられ
なければ、リスクシェアリング仮説を支持

3

本論文の特徴

1968年—2001年の189カ国からなるクロ
スカントリー・パネルデータを用いて、主
に2つの検証が行われている。

- 検証1. 消費のリスクシェアリング仮説
- 検証2. 様々な災害が経済成長に与え
る影響

2

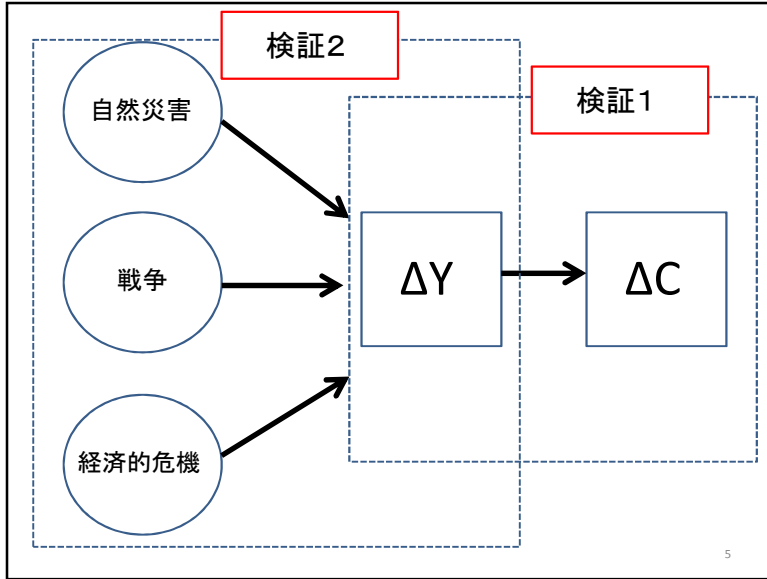
検証2: 様々な災害が経済成長に与える
影響

自然災害、戦争、経済的危機が、短期的
・長期的に生産にどのような影響を与
えるか分析

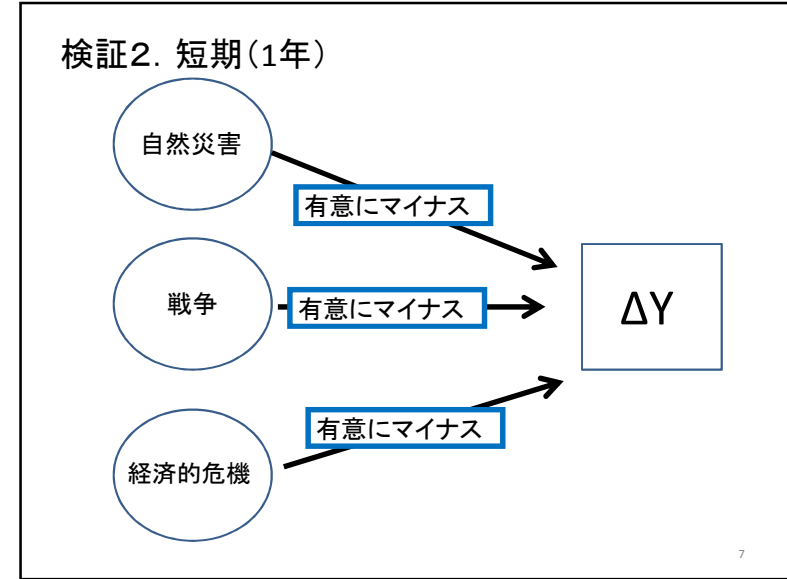
↓

災害が経済成長に与える影響を検証

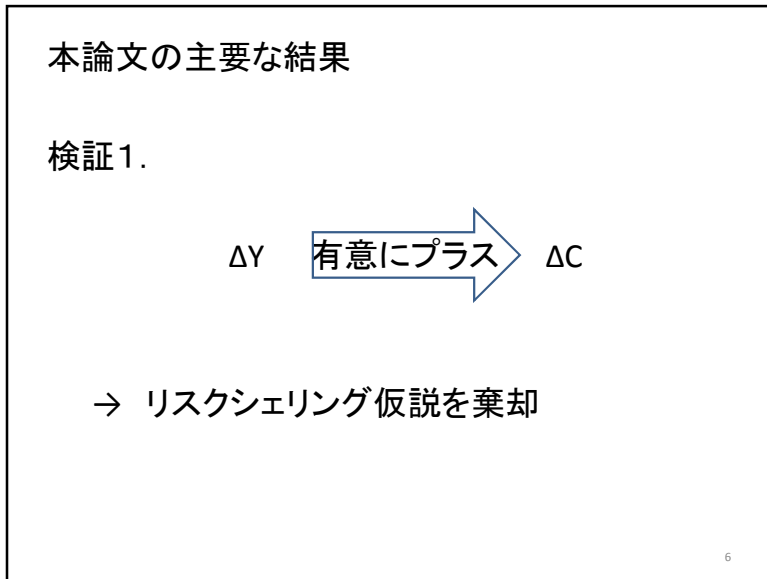
4



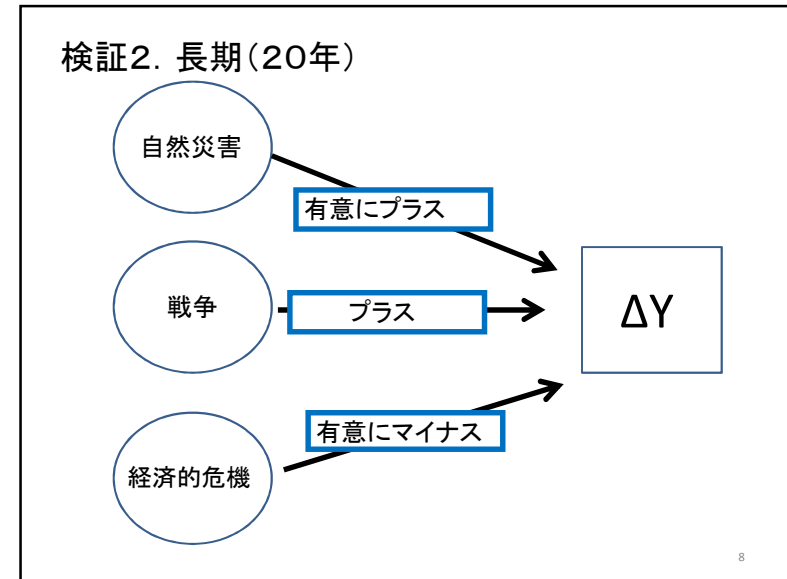
5



7



6



8

評価1.

「様々な災害」をGDP成長率の操作変数として用いて、消費のリスクシェアリング仮説を検証



災害が経済に与える影響を効果的に用いて分析

9

コメント1.

消費のリスクシェアリング仮説は棄却されるのか？

Table4は10%水準で棄却、5%水準は棄却されないことを示唆。

11

評価2.

世界各国のデータを用いて、様々な災害が経済に与える影響を包括的に分析



「災害の種類」および「期間」によって与える影響が異なるという興味深い結果を導出

10

コメント2.

実証結果では、災害がGDP成長率に与える影響が短期と長期で異なることが示されているが、短期と長期を分ける期間はどのぐらいなのか？

短期 1年、3年 →
 長期 15年、20年、25年 → 同じ結果
 → コメント3との関連

12

コメント3.

Table6において各災害はどのような経路で長期の ΔY に影響を与えるのか？

→ 物的資本蓄積、人的資本蓄積、政府投資支出、TFPなど

13

コメント4.

長期経済成長の推計Table6において、初期GDP以外にコントロールする変数は？

→ 初期の学校教育年数、人口成長率、地理的要因（緯度、海があるか否か）など、外生性のある変数

14